

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	総合運動公園再生修復事業			事業番号	36-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	都市部	重田 浩光	みどり公園課	吉田 俊	

計 画 (Plan)

総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち	
		基本政策	9	快適で暮らしやすいまちづくり	
		施策展開の方向	16	便利で機能的なまちをつくる	
		施策	36	みんなで楽しめる公園づくりの推進	
予算事業名	総合運動公園維持管理費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	実施する規定はない	
事業開始年度	開始年度	平成28年度	～	終了年度	令和4年度
関連法令等	都市公園法				
国・県の計画等			計画期間		
関連個別計画			計画期間		
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	伊勢原市総合運動公園は、昭和63年に供用開始されて以来、施設の経年劣化が進んでいます。また、人口減少、少子高齢化、市民ニーズの多様化などの時代の変化に伴い、総合運動公園に求められる役割も変化しています。このような中、市民意識調査においても、大型遊具等が整備された子ども達が遊べる公園のニーズは高くなっています。				
目的 (何をどうしたいのか)	伊勢原市総合運動公園が、将来に渡り、市民の健康づくりや、憩いの場、誰もが楽しめる公園となるよう、総合運動公園再生修復基本方針に基づき、施設の整備を行います。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民及び公園利用者				
事業内容 (手段、手法など)	総合運動公園再生修復基本方針(案)に基づき、実施設計を行い、子ども広場の整備を行います。				
事業行程	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	実施設計	実施設計	—	—	
	施設整備	—	芝生広場遊具等 芝生広場トイレ	芝生広場附帯 展望広場 中央広場水景施設	
目 標	【指標名】	年度			
	【現状値】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	総合運動公園施設の整備	—	実施設計	芝生広場工事 芝生広場トイレ整備	芝生広場附帯工事 展望広場・ 中央広場整備



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	平成30年度に作成した伊勢原市総合運動公園再生修復整備方針及び実施設計に基づき、エリアごとの工事を着実に推進し、整備効果の早期発現を目指します。				
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="checkbox"/> すべて直接実施 <input type="checkbox"/> 左記以外				
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者		
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先		
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容		
実施結果	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	実施設計	実施設計			
	施設整備	-	芝生広場工事 芝生広場トイレ整備		
実施した取組の内容					
目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	総合運動公園施設の整備	-	実施設計	芝生広場工事 芝生広場トイレ整備	

	年度	平成30年度 実績				令和元年度 実績				令和2年度 実績			
		千円	円	千円	円	千円	円	千円	円	千円	円		
コスト	事業費合計 (a)	4,968	千円	167,583	千円	0	千円						
	内訳	国県支出金 ①	0	千円	34,000	千円	0	千円					
		地方債 ②	0	千円	50,600	千円	0	千円					
		その他特財 ③	0	千円	80,840	千円	0	千円					
		一般財源 (a)-①-②-③	4,968	千円	2143	千円	0	千円					
	国県支出金の内容	社会資本整備総合交付金(都市公園等事業)											
その他特財の内容	受益者負担	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		前回の改定時期									
	その他	高速自動車国道通過市町村関連公共施設等整備助成金											
人件費	正規職員	0.11	人	936	千円	0.6	人	5,220	千円	0	人	0	千円
	その他の職員	0	人	0	千円	0.4	人	1,060	千円	0	人	0	千円
	人件費合計 (b)	0.11	人	936	千円	1	人	6,280	千円	0	人	0	千円
	トータルコスト (a)+(b)	5,904	千円	173,863	千円	0	千円						
単位当たりコスト	対象数	定義	市民	単位	市民	単位						単位	
		対象数	102416	人	102,248	人							
	総事業費 / 対象数	58	円	1,700	円								

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	総合運動公園再生修復整備方針に基づき、課題である駐車場、子どもの広場空と大地のゾーンの整備を実施し、4月に供用を開始しました。なお、国の交付金の内示減により、予定していた冒険遊びゾーンの整備は、未着手となりましたが、1月に国の補正予算の採択を受けことができ、概ね計画どおりに進捗しています。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市事業内容等	これまで本市に無かった大型遊具の整備ができ、他市と同水準の整備が進んでいます。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	課題であった駐車場の増設や遊具空間にトイレを整備することにより、公園の機能性、利便性が高まりました。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	事業効果を早期に発現できるよう、工事完成後に供用を開始できる整備エリアを着手するなど、効率・効果的な事業の推進に努めました。



取組の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	総合運動公園再生修復整備方針に基づき、前期2箇年で予定している工事を完成するとともに、後期2箇年の実施設計を行い、事業効果の早期発現をめざすことが必要です。
令和2年度の取組方針		国の令和元年度補正予算に基づく子どもの広場冒険遊びゾーンの整備を推進するとともに、市制施行50周年に合わせたオープニングイベントを企画立案し、子どもの広場のグランドオープンをめざします。		
所管部長による総評		約1万㎡の造成工事を伴う基盤整備工事及び空と大地のゾーンの遊具整備工事を計画どおり完成させ、4月に開園することができました。さらには、国の交付金の内示減に対応するとともに、国の補正予算の採択を受けることもできました。子どもから高齢者まで多世代が楽しむことができる魅力的な公園づくりは、本市の持続的な発展に欠かせないものであると考えますので、早期の完成をめざして取り組みを進めていくことが必要です。		